

# 27PA-pm009S

健康維持サプリメント AM/PM ESSENTIALS™のマウスにおける抗腫瘍効果  
○甲斐 智之<sup>1</sup>, 日高 宗明<sup>1</sup>, 大富 斗史輝<sup>1</sup>, 溝口 昂平<sup>1</sup>, 小田 祐一郎<sup>1</sup>, 鈴木 彰人<sup>1</sup> (九州保福大薬)

【目的】健康維持を目的としてアメリカで幅広く摂取されているサプリメントに、AM/PM ESSENTIALS™ (Jeunesse Global Holdings, LLC) がある。我々は、これまでの検討で、このサプリメントが複数の培養癌細胞に対して増殖抑制作用を有することを明らかにしている。しかし、*in vivo* での効果は不明であるため、本研究では担癌マウスを用いて、本サプリメントの癌に対する効果について検討した。

【方法】7週齢・雄のBALB/c系マウスを用いた。麻酔下で、背部の毛を9 cm<sup>2</sup>刈り、Colon-26細胞1.0×10<sup>6</sup> cellsを皮内投与し、担癌マウスを作成した。担癌マウスを水投与群(コントロール群)、Resveratrol(75 mg/kg)投与群(Res群)、およびサプリメント(300 mg/kg)投与群(AM/PM群)の3群に5~6匹ずつ分けた。Resveratrolは、本サプリメントの含有成分の一つであり、*in vivo*での抗腫瘍効果を有するとの報告があるため、対照として用いた。癌細胞の皮内投与の2日前より14日目まで、1日2回各溶液を、ゾンデを用いて経口投与した。皮内投与後6日目より、2日おきにノギスを用いて腫瘍径を測定し、腫瘍体積を算出した。また、14日目に安楽死させ、腫瘍の重量を測定した。

【結果】14日目の腫瘍体積の平均値(±標準誤差)は、コントロール群、Res群、AM/PM群でそれぞれ、111.4±29.0、94.5±13.1、25.9±4.5(mm<sup>3</sup>)であった。また腫瘍重量は、それぞれ0.92±0.20、0.49±0.17、0.39±0.11(g)であった。このように、AM/PM群はコントロール群と比較し、腫瘍体積および腫瘍重量が有意に減少していた。

【考察】本研究の結果より、このサプリメントには*in vivo*で抗腫瘍効果もしくは予防作用があることが示唆された。今後は、ヒトでのDataの蓄積が望まれる。